

眼科学

責任者名：米原 啓之

学期：前期

対象学年：5年

授業形式等：講義

◆担当教員

米原 啓之(口腔外科学Ⅱ 教授)

中静 裕之(隣接医学 兼任講師)

米永 一理(口腔外科学Ⅱ 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

眼の構造と機能を理解したうえで、口腔内及び口腔周囲に異常をきたす眼疾患を理解するとともに全身病変を伴う眼疾患を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

歯科診療を行うために必要な眼科的な知識を身につけ歯科診療を行うことができる。

◆評価方法

隣接医学Ⅲ各7教科(小児科学・耳鼻咽喉科学・皮膚科学・泌尿器科学・眼科学・産婦人科学・精神・神経科学)の各問題を一つの試験としてまとめ、試験を実施する。平常・定期試験(100%)により評価する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
米原 啓之	月曜日～金曜日 17:00～18:00 口腔外科Ⅱ・臨床医学講座教授室	yonehara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

授業は教科書、PC、黒板を用いて行う。平常テストを行う場合があり、この平常テスト後にフィードバックを行う。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	隣接医学Ⅲ(PDFファイル配付)	日本大学歯学部編	日本大学歯学部	令和3年
参考書	現代の眼科学	所敬監修	金原出版	平成30年

◆DP・CP

DP4

コンピテンス：問題発見・解決力

コンピテンシー：自ら問題を発見し、その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

DP5

コンピテンス：挑戦力

コンピテンシー：新たな課題の解決策を見出すために、基礎・臨床・社会医学等の知識を基に積極的に挑戦し続けることができる。

DP6

コンピテンス：コミュニケーション力

コンピテンシー：医療をはじめとする様々な場面において、他者との円滑な意思の疎通を行い、互いに価値観を共有し、適切なコミュニケーションを実践して自らの考えを発信することができる。

DP7

コンピテンス：リーダーシップ・協働力

コンピテンシー：患者を中心としたチーム医療において、責任ある医療を実践するためのリーダーシップと協働力を養うことができる。

CP3

幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

CP4

歯科医学の基礎知識を体系的に修得し、臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

CP7

歯科医師の責務を自覚して、責任あるリーダーシップを発揮し、患者を中心としたチーム医療における適切なコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

必ず事前に教科書を読んで授業内容の目的を理解しておくこと。

◆準備学習時間

各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

隣接医学 I, II

口腔外科手術時の患者管理

口腔診断学・有病者歯科学

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.5	7	1. 眼の解剖 2. 視機能 3. 角膜疾患 4. 眼瞼・涙器	・眼の解剖について説明できる。 ・視力, 視野, 色覚, 光覚, 屈折, 調節について説明できる。 ・シェーグレン症候群について説明できる。	中静 裕之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
2		4.12	7	5. ウイルス感染	・院内感染予防が必要なウイルス感	米永 一理	E-6 医師と連

				症 6. 細菌感染症 7. 歯科診療に必要な眼科知識	染症について説明できる。 ・細菌性感染症について説明できる。 ・歯科診療に必要な眼科知識を説明できる。	米原 啓之	携するために必要な医学的知識
3		4.19	7	8. 白内障 9. 緑内障 10. ぶどう膜疾患	・白内障の種類, 症状, 治療法について説明できる。 ・緑内障の定義, 分類, 診断, 治療について説明できる。 ・ベーチェット病など, ぶどう膜疾患について説明できる。	中静 裕之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
4		4.26	7	11. 網膜疾患	・糖尿病網膜症, 網膜剥離など, 代表的な眼底疾患について説明できる。	中静 裕之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識
5		5.10	7	12. 眼外傷・救急処置	・眼外傷について説明できる。 ・眼科的救急処置について説明できる。	米永 一理 米原 啓之	E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

